

【概要】

住宅ローン利用者の実態調査

【住宅ローン利用者調査(2020年11月調査)】

I 調査の概要

2020年4月～9月に住宅ローン(フラット35を含む。)の借入れをされた方を対象とし、利用した住宅ローンの金利タイプや住宅ローン選びに関する事項について調査を実施し、その結果をとりまとめたものです。

(参考) 調査実施時期: 2020年11月1日～11月12日、回答数: 1,500件

II 調査結果の主なポイント

<> は、本調査結果の詳細資料中の該当ページ

1 利用した金利タイプでは、引き続き、「変動型」が約6割 <p.2>

- ・「変動型」: 62.9% (2020年5月調査^(※) 60.2%)
- ・「固定期間選択型」: 24.5% (同 26.6%)
- ・「全期間固定型」: 12.6% (同 13.2%)

2 今後1年間の住宅ローン金利見通しについて「ほとんど変わらない」が増加、「現状よりも上昇する」、「現状よりも低下する」、「見当がつかない」は減少 <p.11>

<今後1年間の住宅ローン金利見通しについて(全体)>

- ・「現状よりも上昇する」: 18.1% (2020年5月調査^(※) 20.1%)
- ・「ほとんど変わらない」: 66.1% (同 57.3%)
- ・「現状よりも低下する」: 7.3% (同 10.9%)
- ・「見当がつかない」: 8.4% (同 11.7%)

3 住宅ローンを選んだ理由は、フラット35以外の住宅ローン利用者では「金利が低い」、フラット35利用者は「返済額を確定しておきたかった」が最多 <p.15, p.16>

<住宅ローンを選んだ理由について>

- ・フラット35以外の住宅ローン利用者: 「金利が低い」が72.6%で最多
- ・フラット35利用者: 「返済額を確定しておきたかった」が53.6%で最多
次いで「金利が低い」が42.1%

(※) 2019年10月～2020年3月に住宅ローン(フラット35を含む。)の借入れをされた方が対象